

平成二十六年七月九日に南木曾町で大きな  
 土砂災害が発生しました。この土砂災害は二  
 つの沢が合流し標高差一三〇メートルを下  
 る梨子沢という町の中心を流れていく沢で  
 起りました。  
 私はこの土砂災害について、小学四年生の  
 時に家族から当時の状況を聞きました。また、  
 統合的授業で、当時土石流災害を体験した  
 方や、講師の方が当時の状況やこんなことを  
 感じたのか、この子う指二とが起二つたらど  
 うすればいいかなと教えてもらい、砂防堰堤  
 の役割なども学びました。土石流災害があっ  
 た当時私は三才で、このことを知ったときか  
 けは家族から話を聞いたことでした。家族は  
 災害があつた日、急に雨が降り出して土砂が  
 発生したと話していきました。ものすごく強  
 雨で、周りから見ると危うくらしい雨だった  
 たそうです。つ白い雨しといろのは南木曾町

南木曾町立南木曾中学校 二年 加藤 愛里咲

で土石流が起ニク予兆として言「伝えられて  
モ言乗で、この災害が起きた日、言「伝え  
にあり予兆とありのことか起ニ「たそうです。  
土石流の予兆は、白い雨だけではなく、つ水  
位の下下し、つ泥のようなおいし「う予  
兆もあります。この予兆は、昭和二十八年七  
月二十日に起きた土石流災害のあと、当時ニ  
の災害をまのあたりにした人たちが証言した  
ことや、天候の観測結果などを基にして作っ  
た言「伝えです。私は家族の話や聞いて雨の  
強さに驚きをわかせ、恐ろしいと思「まし  
た。  
小学校の授業では、当時この災害を歴「経し、  
その時に仲か良かった同級生を七くしてしま  
「たが、当時の状況や思「いを話してく「まし  
た。その方は、私の家族が話して「いたように急  
に雨が降「てきて、白い雨だ「たと話して「い  
て、この災害で友達を七くしてしま「い、その  
時は気持ちの整理がつか「存か「たと話して「い  
ました。私たちに当時このことを話してく「れた

時、今でもそのことを思い出すと怖いし悲し  
 しいと余計な話をしてくれました。また、土  
 砂が流れてくる様子や、土砂災害が起  
 こった彼の町の様子や画像を見せてもらいま  
 した。土砂はものすごい速さで流れてきて、  
 次々と家や巻き込んでいきました。この町、所  
 には約一万九千の土砂を埋めた。土砂が  
 堆積しました。その大量の土砂にまつて、十  
 棟が全壊し、家にはた家族が流されてしま  
 った。うち一名が七人になってしまいました。この土  
 砂災害にまつて多くの被害がもたらされた。水  
 災。当時の話を聞くだけにはなく、土砂災害  
 が起きた時に役立つ砂防堰堤について学ば  
 ました。梨子沢での土石流災害が起こったあ  
 り、再度災害防止の目的で元々梨子沢にあ  
 った第一砂防堰堤に加え、第二砂防堰堤が整備  
 されました。第一砂防堰堤は梨子沢土石流  
 災害の一部破壊してしまいましたが、住宅地  
 に出た約五百四十の立木は、土砂  
 を受け止めた。二水は、住宅地に流れて



て土砂災害の恐ろしさを改めて感じました。  
また、土砂災害の時にいだけ砂防堰堤が役  
立っていろいろかま学べました。土砂災害はいつ  
起るかわからないのでハザードマップを確  
認したり、家族で避難場所を確認した。と思  
いました。